

愛荘町みらい創生戦略（概要）

平成 28 年 3 月

人口ビジョン

2060年（平成72）を展望

愛荘町の人口の現状と将来の姿を示し、人口問題に関する町民の認識の共有を目指すとともに、今後目指すべき将来の方向を示す指針として策定

愛荘町の人口の現状と将来人口推計

【人口の推移】愛荘町の人口は1990年以降増加を続けていますが、近年、増加幅は鈍化傾向にあります。

【自然動態】団塊ジュニア世代を中心に子育て世代が比較的多く、出生数は増加を維持し、合計特殊出生率1.81は全国平均を上回ります。

【社会動態】直近では転出者数が転入者数を上回る社会減に転じ、特に若者世代の流出が目立っています。

【将来人口推計】

- このままの状態が続くと、町人口は2060年（平成72）には18,559人となりピーク時の約9割にまで減少すると予想されます。
- 老年人口は約30%に達し、年少人口は約14%まで減少。



将来人口推計結果

人口の変化が地域の将来に与える影響

暮らし	地域の活力の低下、交通や買い物など日常生活への支障、等
地域経済	労働力の不足、地場産業・伝統産業の縮小、等
地方行政	町税の減収と社会保障費の増大、等
その他	地域環境への影響、子育て・教育環境の変化、等

愛荘町 人口の将来展望

目指すべき将来の方向

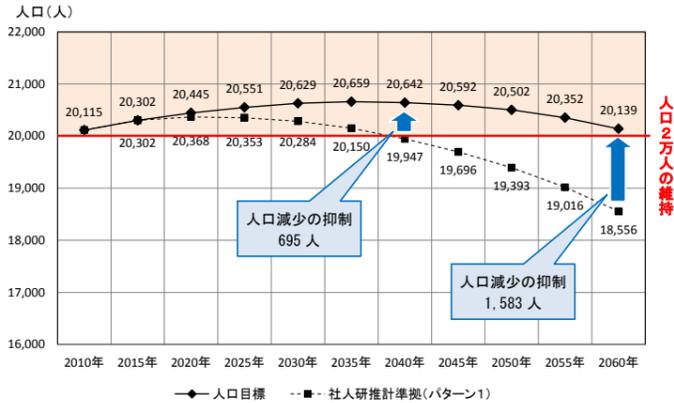
- 【視点1】人口流出の抑制とU I Jターンの促進
- 【視点2】若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現する
- 【視点3】地域の特徴を生かした課題解決と活性化の推進

人口目標

2060年（平成72）時点での人口2万人の維持を目指します

※出生数：2040年（平成52）以降 合計特殊出生率2.07に上昇

※社会増減：若い世代（20代）の転出入ゼロ～転入超過を確保



将来展望における人口の推移

総合戦略

人口ビジョンに示す人口の将来展望を実現するため、町の持続的な発展と豊かな地域づくりに向けて今後5年間で達成すべき目標およびそれを達成するための具体的な施策のとりまとめ

計画期間：平成27（2015）年度～平成31（2019）年度

戦略の柱（みらい戦略）

持続可能なまち

産業振興による町の成長基盤が整い、多様な人々が安心して働ける環境が充実する「しごとづくり」

住民が輝くまち

町の若い担い手が将来にわたり安心して住まい、さまざまな世代の人々が交流する「ひとづくり」

オンリーワンのまち

町の魅力を再発見し、人が集い賑わいと活気にあふれた「まちづくり」

基本目標1. 地域産業の振興と安定した雇用を創出する

地域産業の競争力強化を図るとともに、若者の安定した雇用を創出および地域における女性の活躍を推進します。

■数値目標 町民所得：61,868百万円（H24）⇒63,000百万円（H31）

■重点施策

①地域の資源を活かした産業の振興	②地域産業を活かした魅力の発信	③創業・雇用機会の創出
企業遊休地を活用した新規企業の誘致、地場産業の振興による新規商品開発や販路拡大の支援、地域農業の担い手の位置付けと農地集積の促進、産業連携による新たな『AISHOブランド』の創設等	産業観光ツアー（体験型観光）の企画・実施等	空き家（空き店舗）バンク制度の創設、創業塾の開催、創業支援体制の整備、地元高校就職支援プロジェクトの推進、地域女性の活躍の場づくり等
KPI 新規事業所等誘致数：2社（H31） AISHOブランドの開発数：3件（H31）等	KPI 産業観光ツアー（体験型観光）の実施回数：10回（H28-H31合計）	KPI 愛荘町内における創業・起業件数：15件/年（H31）等

基本目標2. 新しいひとの流れをつくる

既存ストック等を活用した移住・交流施策を推進するとともに、地域資源を活かした新たなひとの流れをつくります。

■数値目標 社会増加数：187人（H22-H26）⇒187人（維持）（H27-H31）、愛荘町観光入込客数（延べ）：335,800人/年（H26）⇒460,000人/年（H31）

■重点施策

①地域の魅力の増進	②観光地域づくりの推進	③地域資源の掘り起こしと活用	④移住・定住・交流の促進
旅行会社等へのセールスの実施、ふるさと納税制度を活用した魅力の発信等	愛荘町版DMOの推進、「湖東三山館あいしょう」の集客向上、観光ボランティアガイドの育成・拡大等	（仮称）中山道愛知川宿街道交流館の整備、（仮称）愛荘町ふれあい交流館の整備、「まちの宝」の認定と活用、愛荘町地域おこし協力隊の拡充等	空き家バンク制度の創設、移住相談窓口の開設、体験交流型教育旅行の体制整備の強化等
KPI 旅行商品採択数：5件/年（H31） ふるさと納税寄付件数：200件（H27-H31合計）等	KPI 「湖東三山館あいしょう」来館者数：143千人/年（H31） 観光ボランティアガイド数：15人（H31）	KPI 「まちの宝」認定・活用件数：20件（H31）、地域おこし協力隊の委嘱数：6人（H31）等	KPI 空き家バンク成立件数：10件（H27-H31合計）、体験交流型教育旅行の受入校数：12校（H27-H31合計）

基本目標3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若い世代を中心とした結婚・出産・子育て環境の創出、強化、充実を図り、出生率の維持向上による自然増を目指します。

■数値目標 合計特殊出生率：1.81（H24）⇒1.91（H31）、未婚率（20～39歳男女計）：44%（H22）⇒40%（H31）、

子育てしやすい町であると感じている住民の割合：58.9%（H27）⇒70.0%（H31）

■重点施策

①結婚・出産の希望の実現	②子ども子育て支援の充実	③就学前教育・学校教育の充実	④子育てと仕事が両立できる環境づくり
婚活セミナー等の開催、地域イベントとの連携による婚活イベントの開催、特定不妊治療費や妊婦検診費用の助成等	延長保育や一時預かり保育等の充実、総合的な相談体制の強化による窓口の一元化、子育て支援センターを拠点とした交流の場の提供等	質の高い幼児期の学校教育・保育の提供、総合的な教育環境の充実、特別な支援を要する子どもや外国人児童生徒への学習支援等	男女共同参画社会の推進、企業内保育等の支援、地域で活躍する女性の「見える化」、新たな人材の発掘・育成等
KPI 婚活イベントの開催数：5回（H31）、妊婦検診受診回数（1人あたり）：14回（H31）等	KPI 子育て支援センターの利用者数：30,000人（H31） 待機児童数：0人（H31）	KPI 算数の授業内容が分かる児童の割合：85%（H31）、地域の行事に参加する児童の割合：90%（H31）等	KPI 25歳から44歳までの女性の就業率：70.0%（H31）

基本目標4. 時代にあった地域をつくり、魅力あるまちの実現する

地域の特性や資源を活かしながら、居住・生活・安全安心環境の向上に取り組むことで、地域活力の維持向上を図り、人々が愛着と誇りをもてる町の暮らしの実現を目指します。

■数値目標 滞在人口：平日42,300人休日37,900人（H26）⇒平日45,000人休日40,000人（H31）

■重点施策

①暮らしやすい居住・生活環境の整備	②地域コミュニティの活性化	③生涯現役のまちづくりの推進	④安全で安心な社会の構築
空き家バンク制度の創設による空き家等の再生と利活用、新たな住宅リフォーム制度の創設、愛のりタクシーの利用促進、等	地域福祉活動への参加促進、地域福祉ネットワークの育成、「（仮称）支え愛ポイント制度」の推進等	地域包括ケアシステムの強化、シルバー人材センターの運営支援、「（仮称）健康ポイント制度」の推進等	公共施設等総合管理計画の策定及び町有施設空きスペース等の活用検討、危機管理マニュアルの策定、自主防災組織の設置促進等
KPI 空き家バンク成立件数：10件（H27-H31合計）、住宅等リフォーム制度活用件数：30件（H27-H31合計）等	KPI ボランティアに参加したことが「ある」住民の割合：一般60%（H31）、自治会加入率：82%（H31）	KPI シルバー人材センター登録会員数：287人（H31）、ふれあいサロンの拡充：40自治会（H31）等	KPI 町有施設空きスペースの有効活用件数：2件（H31）、自主防災組織の構築：40自治会（H31）等